

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会・第9回総会議事録

- 日時：平成28年7月2日（土）13:30～15:00
- 場所：沖縄県立博物館・美術館 1階研修室
- 出席：20名、委任状・議決行使権：30名
- 議長団：会長（中野義勝）、議長（木村匡、宮古島マリンリゾート協同組合・新村一広）、事務局（沖縄県環境部自然保護課・志賀俊介、古田さゆり）、運営委員（沖縄県環境科学センター・山川英治）、司会（中村章弘）
- 議事録署名人：後藤亜樹、沖縄県環境部自然保護課

有効会員数（規約第7条の規定による議決権を有する会員）◎名中、20名の出席者及び委任状または議決行使権送付者30名、合計50名により、成立要件である会員の過半数◎名を満たしたので総会が成立し、事務局より提出された議案を協議した。

【アンダーライン部分が総会での決定事項】

【「・」は説明事項および提言事項】

【「→」は説明事項や提言事項に対する意見】

1. 第1号議案 平成27年度活動報告

平成27年度に行った以下の事業について事務局から説明があり、内容について会員に承認を受けた。

- (1)理事会及び総会の開催、交流会の実施
- (2)第7回わたしのサンゴ礁イメージ展の実施
- (3)サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業
- (4)サンゴ礁ウィーク2016の実施
- (5)後援、共催、協賛
- (6)ホームページの維持管理
- (7)各委員会からの報告

・将来委員会で議論した中で今年度を実施する活動はあるか？

→まだ将来委員会の立ち上げを行った段階で、具体的な活動案については今年度で議論して検討していく。

→これまでの活動を振り返りについては資料にまとめて会員にも確認してもらい、会員からも新しい活動案を募るなど、会員の意見もぜひ反映させてほしい。

2. 第2号議案 平成27年度収支決算報告

平成27年度収支決算報告について、事務局から以下のように説明があり、会員からの承認が得られた。また、監査役の沖縄県衛生環境研究所（金城孝一氏）より、規約14条第3項に

基づき平成 27 年度の会計監査を実施し、関係帳簿及び預金通帳等を元に、適正に管理運営されていることを確認したことが報告された。

歳入	項目	27年度予算	27年度決算	備考
	寄付金収入合計	100,000	238,342	
	エヌキューブ		(19,156)	寄付金内訳
	沖環科		(16,000)	寄付金内訳
	洋服ポスト		(203,186)	寄付金内訳
	助成金	100,000	0	
	受取利息合計	0	3,330	
	一般会計		(335)	受取利息内訳
	アラムコ基金		(2,995)	受取利息内訳
	雑収入	0	2	助成金返金
	前期繰越金合計	19,019,873	20,479,711	
	一般会計	(2,469,574)	(2,469,412)	前期繰越金内訳
	アラムコ基金	(16,550,299)	(18,010,299)	前期繰越金内訳
	アラムコ基金外貨口座	\$13.40	\$13.40	
	合計	19,119,873	20,721,385	
		\$13.40	\$13.40	

歳出	項目	27年度予算	27年度決算	備考
	アラムコ助成事業	3,005,000	559,598	
	助成金	(3,000,000)	(557,870)	助成事業内訳
	振込手数料	(5,000)	(1,728)	助成事業内訳
	一般会計費	1,978,000	1,667,800	
	1. 活動費	460,000	651,495	
	那覇空港写真展		(102,158)	活動費内訳
	イメージ展	(50,000)	(43,265)	活動費内訳
	サンゴ礁ウィーク	(400,000)	(488,944)	活動費内訳
	振込手数料		(7,128)	活動費内訳
	その他	(10,000)	(10,000)	活動費内訳
	2. 会議費	50,000	24,236	
	3. 消耗品費	0	0	
	4. 旅費交通費	898,000	567,557	
	理事会	(748,000)	(274,557)	旅費交通費内訳
	委員会		(52,420)	旅費交通費内訳
	審査会	(50,000)	(59,780)	旅費交通費内訳
	サンゴ礁ウィーク実行委員会	(100,000)	(180,800)	旅費交通費内訳
	5. 謝金等	50,000	0	
	6. 通信費	10,000	9,360	
	7. 雑費	10,000	432	
	8. 委託費	500,000	414,720	
	9. 協賛金	0	0	
	次期繰越金	14,236,873	18,493,987	
	一般会計	(1,691,574)	(2,040,289)	次期繰越金内訳
	アラムコ基金	(12,545,299)	(16,453,698)	次期繰越金内訳
	アラムコ基金外貨口座	\$13.40	\$13.40	
	合計	19,219,873	20,721,385	
		\$13.40	\$13.40	

財 産 目 録

平成28年3月31日現在

(資 産 の 部)

I 流動資産

1 現金及び預金

1 現 金		86,684	86,684 円
2 預 金			
(1) 普通預金 一般会計口座		1,953,605	
(2) 普通預金 アラムコ口座		16,453,698	
(3) 普通預金 外貨口座 (ドル)		13.40	
			18,407,303 円
			13.40 ドル
資産の部合計			18,493,987 円
			13.40 ドル

(負 債 の 部)

I 流動負債

1. 助成金未払 1,200,000

負債の部合計 1,200,000 円

(正味資産の部)

正味資産 17,293,987 円
13.40 ドル

助成金内訳

平成25年度助成事業

	助成額	概算払	支払日	精算払い	支払日	合計
宮古島マリンリゾート協同組合	320,000	0	-	181,000	2014/10/24	181,000
ナンハナリサンゴ調査会	600,000	0	-	515,455	2014/11/5	515,455
海の自然史研究所	600,000	300,000	2013/12/10	300,000	2015/1/6	600,000
グローイングコーラル	600,000	300,000	2014/3/27			300,000
合計	2,120,000	600,000	-	996,455	-	1,596,455

平成26年度助成事業

	助成額	概算払	支払日	精算払い	支払日	合計
海の自然史研究所	600,000	0	-			-
海辺の環境教育フォーラム2014 in 沖縄 実行委員会	520,000	260,000	2014/10/17	-2	2015/5/11	259,998
沖縄リーフチェック研究会	600,000	300,000	2014/12/9	257,870	2015/10/20	557,870
合計	1,720,000	560,000	-	257,868	-	817,868

平成27年度助成事業

	助成額	概算払	支払日	精算払い	支払日	合計
海辺の生き物を守る会	600,000	300,000	2016/2/24			300,000
合計	600,000	300,000	-	0	-	300,000

平成27年度財産目録には、平成25年度助成事業および平成26年度助成事業、平成27年度助成事業の、未払金1,200,000円を計上している。

3. 第3号議案 平成28年度事業計画(案)

平成28年度事業計画について事務局から以下の活動計画の説明があり、会員の承認が得られた。

- (1) 理事会及び総会の開催、交流会の実施
- (2) 第8回わたしのサンゴ礁イメージ展の実施
- (3) サンゴ礁ウィーク 2017 の実施
- (4) サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業
 - ・ サウジアラムコ基金を活用した新たな支援事業の立ち上げ（平成29年度より実施予定）
「ジュニアサンゴレンジャー支援プロジェクト（仮）」
- (5) ホームページの維持管理
- (6) 後援、共催、協賛
- (7) その他活動に必要な事項
 - ・ 広報資料の作成

4. 第4号議案 平成28年度収支予算(案)

平成28年度収支予算について事務局から以下の活動計画の説明があり、会員の承認が得られた。

歳入	項目	27年度決算	28年度予算	備考
	寄付金収入	238,342	200,000	
	エヌキューブ	(19,156)		寄付金内訳
	沖環科	(16,000)		寄付金内訳
	洋服ポスト	(203,186)		寄付金内訳
	受取利息	3,330	3,300	
	一般会計	(335)	(300)	受取利息内訳
	アラムコ基金	(2,995)	(3,000)	受取利息内訳
	雑収入	2	0	
	前期繰越金	20,479,711	18,493,987	
	一般会計	(2,469,412)	(2,040,289)	前期繰越金内訳
	アラムコ基金	(18,010,299)	(16,453,698)	前期繰越金内訳
	アラムコ基金外貨口座	\$13.40	\$13.40	
	合計	20,721,385	18,697,287	
		\$13.40	\$13.40	

歳出	項目	27年度決算	28年度予算	備考
	アラムコ助成事業	559,598	3,002,000	
	助成金	(557,870)	(3,000,000)	助成事業内訳
	振込手数料	(1,728)	(2,000)	助成事業内訳
	一般会計費	1,667,800	2,818,000	
	1.活動費	651,495	960,000	
	那覇空港写真展	(102,158)	(100,000)	活動費内訳
	イメージ展	(43,265)	(50,000)	活動費内訳
	サンゴ礁ウィーク	(488,944)	(690,000)	活動費内訳
	広報資料作成		(100,000)	活動費内訳
	振込手数料	(7,128)	(10,000)	活動費内訳
	その他	(10,000)	(10,000)	活動費内訳
	2.会議費	24,236	50,000	
	3.消耗品費	0	0	
	4.旅費交通費	567,557	798,000	
	理事会	(274,557)	(548,000)	旅費交通費内訳
	委員会	(52,420)		旅費交通費内訳
	審査会	(59,780)	(50,000)	旅費交通費内訳
	サンゴ礁ウィーク実行委員会	(180,800)	(200,000)	旅費交通費内訳
	5.謝金等	0	50,000	
	6.通信費	9,360	50,000	
	7.雑費	432	10,000	
	8.委託費	414,720	900,000	
	9.協賛金	0	0	
	次期繰越金	18,493,987	12,877,287	
	一般会計	(2,040,289)	(422,589)	アラムコ基金より100万円
	アラムコ基金	(16,453,698)	(12,454,698)	一般会計へ100万円
	アラムコ基金外貨口座	\$13.40	\$13.40	
	合計	20,721,385	18,697,287	
		\$13.40	\$13.40	

5. 第5号議案 役員選挙結果

事務局より役員選挙について以下の結果が報告され、会員の承認が得られた。

会 長	中野 義勝
副会長	八重山サンゴ礁保全協議会
理 事	泡瀬干潟を守る連絡会
	安納 昭則
	NPO 法人沖縄エコツーリズム推進協議会
	沖縄県衛生環境研究所
	沖縄県環境部自然保護課
	沖縄県立博物館・美術館
	沖縄リーフチェック研究会
	梶原 健次
	環境省那覇自然環境事務所
	木村 匡
	有限会社コーラルクエスト
	後藤 亜樹
	佐藤 宗範
	WWF ジャパン
	一般社団法人渡嘉敷ダイビング協会
	西平 守孝
	藤田 喜久
	宮古島マリンリゾート協同組合
監査役	沖縄県漁業協同組合連合会
	鹿熊 信一郎

6. 第6号議案 規約の改正(第24条)

事務局より沖縄県環境部自然保護・緑化推進課の名称変更による規約の改正について提案がなされ、会員により承認された。

改正前	改正後
(運営事務局) 第24条 協議会の活動を円滑に進めるための事務作業を行う運営事務局を <u>沖縄県環境部自然保護・緑化推進課</u> に設置する。	(運営事務局) 第24条 協議会の活動を円滑に進めるための事務作業を行う運営事務局を <u>沖縄県環境部自然保護課</u> に設置する。

7. 第7号議案 その他

議長の提案により、平成28年度のサンゴ礁ウィークや協議会の運営について出席した会員より意見や要望を受付けた。

- ・サンゴ礁ウィークの期間中に多くのイベントが実施されたが、その中で参加者の反応が良かったのはどのような企画だったか？
→各企画における細かい反響については総会資料のサンゴ礁ウィーク 2016 報告書の実施結果の項目を確認して欲しい。
- ・サンゴ礁ウィークに参加した実施側の団体間で交流がほとんどなかった。観察会など近い内容の企画もあるので、協議会が主となって安全管理やインタープリテーションなどの研修会を実施団体向けに開いて情報交換や交流の機会を作ってはどうか。(サンゴ礁ウィーク 2016 参加団体より)
- ・サンゴ礁ウィークに限らず、協議会の会員間の交流が少ないという意見は3年前の総会でも出ていた。改善がみられないのは残念である。総会についても、議案書を読み上げるだけで議論や意見交換も少なく、活気がない。活性化のための案を理事会等でも検討して欲しい。
→ひとつの改善策として本日予定している交流会を活発に行っていきたい。交流会をどう拡大していくかも課題として挙がっているので、それも含めて協議会全体で検討できればと思っている。
- ・個人で当協議会に参加した際のメリットをどのように感じているか。またはどのようなメリットを求めて参加したのか。
→個人的な例になるが、協議会にはビーチクリーンなどのイベントの情報が得たくて参加した。そういった情報は中々得られなかった。総会で他の会員と交流する中で得ようと思ったが予定が合わずに総会や交流会に参加できなかつたり、総会での交流の結果が共有されなかつたりと、思っていたメリットを享受できていないのが現状である。(那覇市より参加の個人会員より)
→県内の活動を把握して会員向けに情報発信を行ったり、活動に参加可能な団体の資料を揃えたりと、会員向けのメリットがより明確になるよう改善策を検討したい。

以上